



あめ なに 雨には何がふくまれているの

ふくまれているものは、そのときによってちがう

あめ つぶは、ちひょう ちひょう お ちゆうで、くうきちゆう 空気中にうかんでいる、よごれを取りこみます。このよごれは、つよ 強い風でまい上がった細かい土ぼこりだったり、うみ みず 海の水のかわいた塩だったりします。また、はる 春のころには、いろいろな 植物の花粉が混じっていたりします。あめ 雨が降ったあとで、よく は 晴れたときに、とお 遠くのほうの景色までよく み 見えるのは、あめ 雨が空気中のよごれを吸い取り、空気をきれいにしたからです。

じどうしゃ はいき こうじょう で 自動車の排気ガスや、工場から出るけむり

さいきん 最近では、じどうしゃ はいき こうじょう で 工場から出るけむりの中にあるものが、あめ 雨つぶにとけこんで、さんせいう 酸性雨というあめ 雨を降らせています。

さんせいう 酸性雨とは、りか 理科の実験などで使う えんさん 硫酸などの酸を、あめ 雨にとかしこんだようなものです。ですから、つよ 強い酸性になっています。

じどうしゃ はいき こうじょう で 工場から出るけむりの中には、いおうさんかぶつ 硫酸化物やちっ 素酸化物などがあめ 雨つぶにとけこんで、さんせいう 酸性雨となります。

さんせいう ひがい 酸性雨は、いろいろな被害をもたらす

さんせいう 酸性雨はせかいかくち 世界各地で、しんりん き 森林の木をからしたり、みずうみ さかな し 湖の魚を死なせたり、コンクリートをもろくするなどのひがい 被害をもたらしています。（監修・村山 貢司）

